

10月14日 出張！まちの保健室 買い物ついでに健康チェック



▲保健師による赤ちゃんの身体測定や育児相談を行いました

普段交流センターで行っている「まちの保健室」をより多くの方に利用してもらうため、(株)杏林堂薬局とポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)と協働で、「出張！まちの保健室」を杏林堂薬局西貝塚店で行いました。

買い物で来店された方は、血管年齢測定や健康相談、育児相談など買い物の時間を利用して、自身の健康チェックを行いました。

10月21日 いわたde音楽フェスタ&磐田吹奏楽連盟 定期演奏会 3市町の吹奏楽団が一堂に集結



▲特別企画の竜洋中学校オーケストラによる演奏が披露されました

いわたde音楽フェスタ2018と第59回磐田吹奏楽連盟定期演奏会が磐田市民文化会館で行われました。イベントには、磐田市・袋井市・森町の中学・高校・一般の吹奏楽団が一堂に集まり、多くの来場者が訪れました。今年の特別企画として竜洋中学校の吹奏楽部・弦楽部による特別オーケストラや城山中学校の吹奏楽部・合唱部のコラボレーションなどが行われ、来場者はさまざまな楽団の音色を楽しみました。

10月8日 いわたスポレク健康フェスティバル 健康で楽しくスポーツしよう



▲青空の下で体を動かす参加者としてっぺい

かぶと塚公園内の陸上競技場や総合体育館などで「いわたスポレク健康フェスティバル」が行われ2,600人の市民が秋晴れの下、さまざまなスポーツを楽しみました。

参加者たちは、陸上競技場で50メートル走や立ち幅跳びなどの体力測定にチャレンジし、総合体育館内ではトランポリンやキンボールなど普段体験する機会の少ない種目を楽しみました。

10月16日 ヤマハ発動機(株)と協定を締結 住みやすいまちを共に目指して



▲より住みやすいまちを目指して協力していきます

磐田市とヤマハ発動機(株)は、地域公共交通の問題解決と市民生活の利便性向上を図ることを目的とし、「低速自動運転車両の実証実験に関する連携協定」を締結しました。

来年前半から約2年間、市内の公道で低速自動運転車両を走行させる実証実験を行う予定です。将来的には、市民の新しい公共交通手段としての実用化が期待できます。

写真が動く！
AR 動画

ARのマークが付いた写真を専用のアプリを利用して撮影すると、あたかも紙面の写真が動いているかのように動画が再生されます。専用アプリ「ARラボ」は右記2次元バーコードからダウンロードできます。
※アプリのダウンロードや使用にかかる通信料は、利用者負担となります



【ios用】

【android用】

10月28日 IWATA DANCE EVOLUTION 2018 ステージで踊る！輝く！！



▲練習の成果をステージで存分に発揮しました

子どもから年配の方まで幅広い世代が舞台上がる、市民のためのダンスイベント「IWATA DANCE EVOLUTION」が磐田市民文化会館で行われました。今年で6年目を迎えるイベントに、小学生や高校のダンス部、ダンススタジオの生徒など、ダンスに夢中な若者たちが市内外から集まり、舞台上で練習の成果を披露しました。来場者は熱いダンスが繰り広げられるステージを楽しみました。

10月22日 高校生の提案が実現 しっぺいトイレトペーパー完成



▲かわいいトイレトペーパーを笑顔で受け取る高校生

昨年度、高校生による提案事業「ヤング草莽塾^{そうもう}」で、磐田北高校の生徒からしっぺいがプリントされた「トイレトペーパー」の制作が提案されました。今年度、高校生と一緒に制作を進め完成したため、制作に携わった高校生に完成品を贈呈しました。

受け取った磐田北高校3年生の平井深優さんは「自分たちの提案が実現されてとてもいい経験になりました」と話しました。

10月29日 「世界のあいさつ4カ国語」小冊子作成 4カ国語の会話にチャレンジ



▲冊子で初めての外国語に挑戦する児童たち

約1年後に行われるラグビーワールドカップ2019™を盛り上げるため、市内全小学校の全児童約9,500人へ、エコパスタジアムに来る海外7カ国のチームの言語（英語、イタリア語、ジョージア語、ロシア語）のあいさつをまとめた小冊子を配布しました。外国語の授業で使用した岩田小学校3年生の菊地柚未子^{ゆみこ}さんは「ジョージア語は難しかったけど、実際に話してみたいです」と話しました。

10月25日 竜洋西保育園お囃子の会 笛の音に合わせて太鼓が響く



▲掛け声とともに太鼓を一生懸命たく園児たち

竜洋西保育園で掛塚屋台囃子保存会の協力によるお囃子の会が開催されました。園児たちは保存会の人から掛塚まつりの由来などの話を聞いたり、祭り囃子を聴いたりすると、法被に身を包み笛の音に合わせてみんなで小太鼓をたたきました。また、園児の手作りの飾りで彩ったミニ屋台の引き回しも行われ、子どもたちは「オイショー」の掛け声を力一杯出しながら地域に伝わる祭りを体験しました。